

米子をエンジョイしている人々

よなごびと 第九回

全日本トライアスロン皆生大会 ボランティア

三浦 知美 さん



大会当日、選手に一番近い存在が

ボランティアです!!

日本におけるトライアスロンの歴史は、39年前、ここ米子、皆生温泉から幕を開けました。以降、皆生大会は「鉄人たちのふるさと」として、全国の選手たちから愛され続けています。

三浦さんは、そんな大会を支えるボランティアのひとり。普段は株式会社葬仙にお勤めで、皆生大会に惚れこんでからは、仕事の合間を縫って何年間も大会に関わっています。そのきっかけは、高校時代にたまたまボランティアに出た際、県外の選手から「やっぱり皆生大会はいいね」と言われたこと。「地元を褒められるのがうれしくて。普段は意識しない皆生大会の存在が、すごく特別で、誇らしいことだと気づいたんです」と当時は懐かしみます。

「大会当日は、選手に一番近い存在がボランティア。間近で見て、声をかわすことで、頑張っている選手から元氣と勇気をもらえます」と醍醐味を語る三浦さん。毎年、大会当日しか出会わない多くの選手やボランティアと、「今年も会えたね!」「また来年、皆生で会おうね!」と10年来の仲間のように声を掛け合うのだそうです。

皆生大会の自慢は、灼熱の中、声を枯らして選手を支える数千人のボランティア。「沿道へ出て、実際に選手を見てほしい。そして感じるものがあるばボランティアとして一緒に参加してほしいです!」と、若きボランティアはこの夏も沿道で笑顔を咲かせます。

ボランティアは1時間からでも参加可能



炎天下、選手を支える多くのボランティア



米子市の人口と世帯数 令和元年5月末日現在（住民基本台帳による。） ※（ ）内は前月比

人口 147,865人(+26人) 男性 70,404人(+12人) 女性 77,461人(+14人) 世帯数 66,877世帯(+16世帯)

編集発行/米子市総務部秘書広報課/〒683-8686 米子市加茂町1-1/☎23-5372

Eメール kouhou@city.yonago.lg.jp ■毎月1日発行 ■印刷/合同印刷株式会社

米子市役所（代表☎22-7111）